

お知らせ

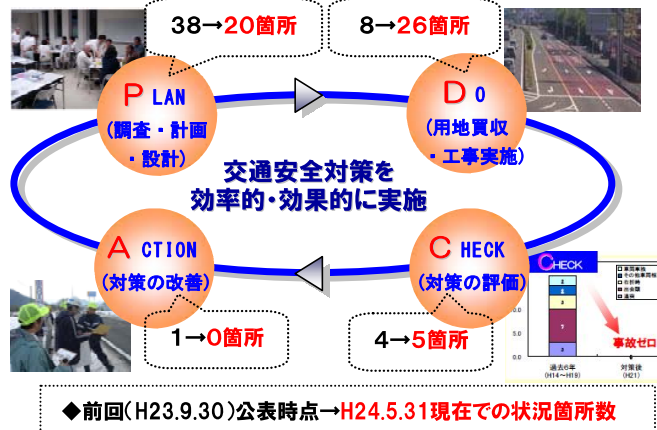
資料提供先	県政記者クラブ 県政記者会 県政滝町記者クラブ
-------	-------------------------------

山口県版

「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」 の取り組み状況について

○ 事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の公表後、約1年5ヶ月が経過し、地域の方々・警察・関係機関等との意見・調整を行い進捗が図られた箇所が25箇所あり、PDCAサイクルの次のステップに移行した箇所が19箇所ありますので、公表箇所（代表箇所の51箇所）の取り組み状況について、お知らせします。

● PDCAサイクルによって、交通事故対策事業の持続的な改善を行い、確実な事故低減を目指します。



対策にあたっては、今後も道路利用者（地域の方々等）・警察・関係機関等の意見を聞き、利用実態を反映した効果的な事故対策を行うように進めていきます。

■山口河川国道事務所では、「事故データ」「地域の意見」「県内の地域性」及び、学識経験者・専門家等から構成される「山口県交通アドバイザー会議」の意見を参考に、国が管理する道路において「事故の危険性が高い区間」の箇所を抽出し、平成22年12月に「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」としてとりまとめ、代表箇所の51箇所を公表しました。

■事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）とは

現に交通事故が発生している箇所および、地域の声から判明した、交通利用についての安全・安心感が不足する箇所を「事故危険区間」として選定しました。

今後は、道路利用者にも交通事故が起こりやすい危険な箇所との認識を持っていただきながら、選択・集中的に交通事故の発生要因を排除していくため、「事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）」として計画的に取り組むものです。

■問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長（管理担当） 松村 守（内線 206）

【担当】交通対策課長 坂本 弥（内線 471）

電話番号（0835）22-1785（代表）

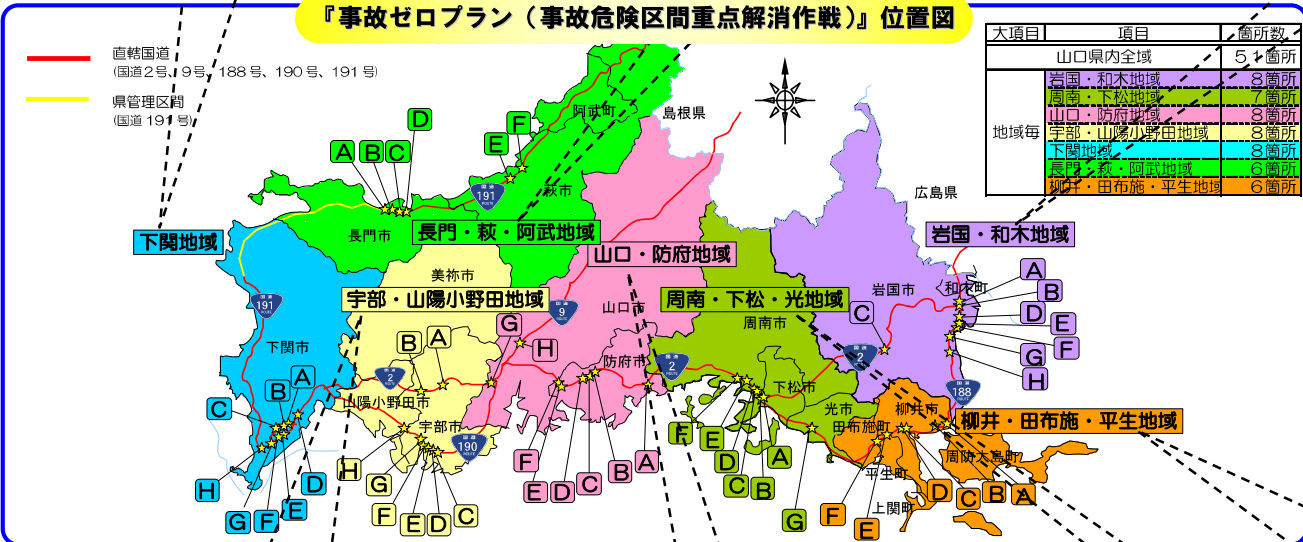
■広報担当

計画課長 藤原 功

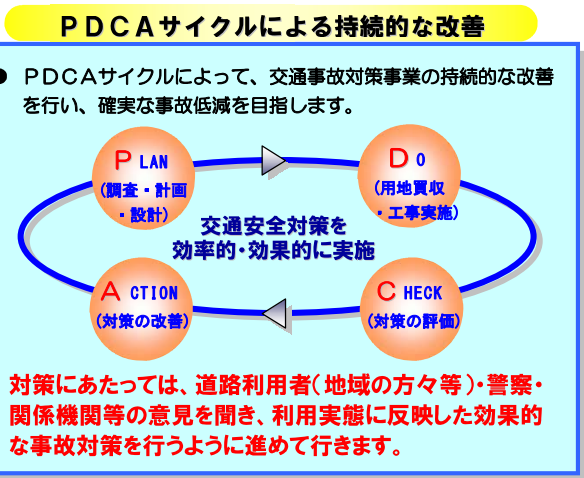
位置	路線名	箇所名	PDCA サイクルでの状況	取り組み状況
A	国道2号	滑石交差点	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
B	国道2号	長府トンネル	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
C	国道2号	市道逢坂線(1級)交差点	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
★前回(H23.9.30)公表時点より、進捗が図られた箇所において着色				
G	国道9号	壇ノ浦地内	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (計画・設計)
H	国道9号	唐戸交差点	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (計画・設計)

位置	路線名	箇所名	PDCA サイクルでの状況	取り組み状況
E	国道191号	後小畑地内	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
★前回(H23.9.30)公表時点より、進捗が図られた箇所において着色				

位置	路線名	箇所名	PDCA サイクルでの状況	取り組み状況
A	国道2号	昭和橋交差点	CHECK (対策の評価)	経過観察中 (H22年度に路面標示の変更を実施済)
C	国道2号	玖珂町千束地内	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画・設計)
D	国道188号	今津町二丁目地内	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (関係機関との調整中)
★前回(H23.9.30)公表時点より、進捗が図られた箇所において着色				



大項目	項目	箇所数
山口県内全域		51箇所
地域毎	岩国・和木地域	8箇所
	周南・下松地域	7箇所
	山口・防府地域	8箇所
	宇部・山陽小野田地域	8箇所
	下関地域	8箇所
	長門・萩・阿武地域	6箇所
	柳井・田布施・平生地域	6箇所
	下関市	6箇所



位置	路線名	箇所名	PDCA サイクルでの状況	取り組み状況
A	国道2号	瓜生野交差点	DO (用地買収・工事実施)	事業中 (用地買収完了箇所において工事実施中)
B	国道2号	茶屋交差点	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (計画・設計)
E	国道190号	市道高砂小路線交差点	CHECK (対策の評価)	経過観察中 (H22年度に警察により信号機・横断歩道を設置済)
F	国道190号	藤山交差点	CHECK (対策の評価)	経過観察中 (H22年度の電線共同溝工事により交差点改良実施済)
G	国道190号	流川交差点	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
H	国道190号	新生町交差点	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
★前回(H23.9.30)公表時点より、進捗が図られた箇所において着色				

位置	路線名	箇所名	PDCA サイクルでの状況	取り組み状況
A	国道2号	富海小学校前付近	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (富海拡幅事業) (調査・計画・設計)
B	国道2号	塚原交差点	DO (工事実施)	事業中 (工事発注準備中)
D	国道2号	総合医療センター入口交差点	DO (工事実施)	事業中 (工事発注準備中)
E	国道2号	小俣交差点	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
F	国道2号	寺ノ下地内	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (計画・設計)
G	国道2号	今坂交差点	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画・設計)
H	国道9号	新町交差点	PLAN (調査・計画・設計)	対策案検討中 (調査・計画)
★前回(H23.9.30)公表時点より、進捗が図られた箇所において着色				

位置	路線名	箇所名	PDCA サイクルでの状況	取り組み状況
★前回(H23.9.30)公表時点より、進捗が図られた箇所において着色				

位置	路線名	箇所名	PDCA サイクルでの状況	取り組み状況
A	国道2号	南花岡交差点	PLAN (調査・計画・設計)	事業工程調整中 (計画・設計)
B	国道2号	末武中交差点	CHECK (対策の評価)	経過観察中 (H22年度の電線共同溝工事により交差点改良実施済)
E	国道2号	市道遠石一の井手線交差点	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (周南立体事業) (調査・計画・設計)
F	国道2号	三田川交差点	PLAN (調査・計画・設計)	事業中 (周南立体事業) (調査・計画・設計)
G	国道188号	光市役所前交差点付近	DO (工事実施)	事業中 (工事発注準備中)
★前回(H23.9.30)公表時点より、進捗が図られた箇所において着色				

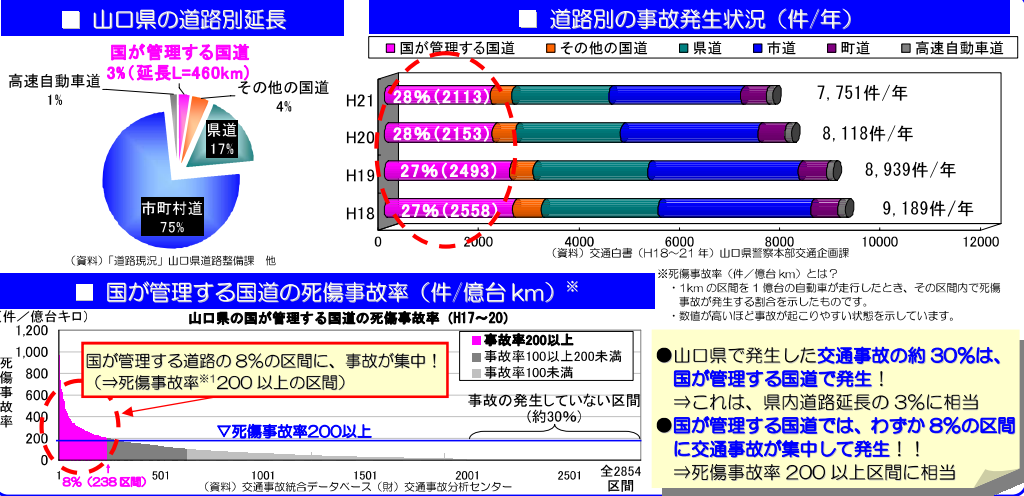
『事故ゼロプラン (事故危険区間重点解消作戦)』とは？

- 現に交通事故が発生している箇所および、地域の声から判明した、交通利用についての安全・安心感が不足する箇所を「事故危険区間」として選定しました。
- 今後は、道路利用者にも交通事故が起りやすい危険な箇所との認識を持っていただきながら、選択・集中的に交通事故の発生要因を排除していくため、「事故ゼロプラン (事故危険区間重点解消作戦)」として計画的に取り組むものです。



※『PDCAサイクルでの状況及び取り組み状況』は平成24年5月31日時点の状況です。

山口県で発生する交通事故には、どのような特徴があるの？



つまり、、、山口県の交通事故は特定の区間に集中して発生しています

◎優先的に事故対策が必要な区間を選択し、限られた財源を集中的に投資します

PLAN

(対策事例)
・死傷事故率が高い交差点
・トンネル出口の急カーブ中に交差点があり、車両相互・交差点の視認性が悪く誤進入が発生。
・下り坂のため、速度が高くなりやすい。

●特定箇所に集中する交通事故を明確化
●事故要因に即した効果の高い案を立案

Do

(対策事例)
・曲線半径の緩和、交通島先端の切り下げに加え、ポストコーン設置、路面標示、誘導補助版、カラー舗装及びカラーパネルにより注意喚起を行い、事故低減を図った。

●事業化
●短期・長期、ハード面・ソフト面からの効果的な対策の実施

対策事例

ACTION

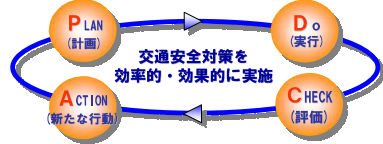
(対策事例)
・評価結果の記者発表 (山口河川国道事務所ホームページでの評価結果公表)
●評価結果の検証・公表
●追加対策の検討

CHECK

(対策事例)
従前の事故発生状況と対策後の事故発生状況を比較し、対策効果を把握。

●事故発生状況の把握
●交通安全対策の効果評価・分析
●アンケートなどを加えた更なる評価

PDCA サイクルにより継続的な改善を行います

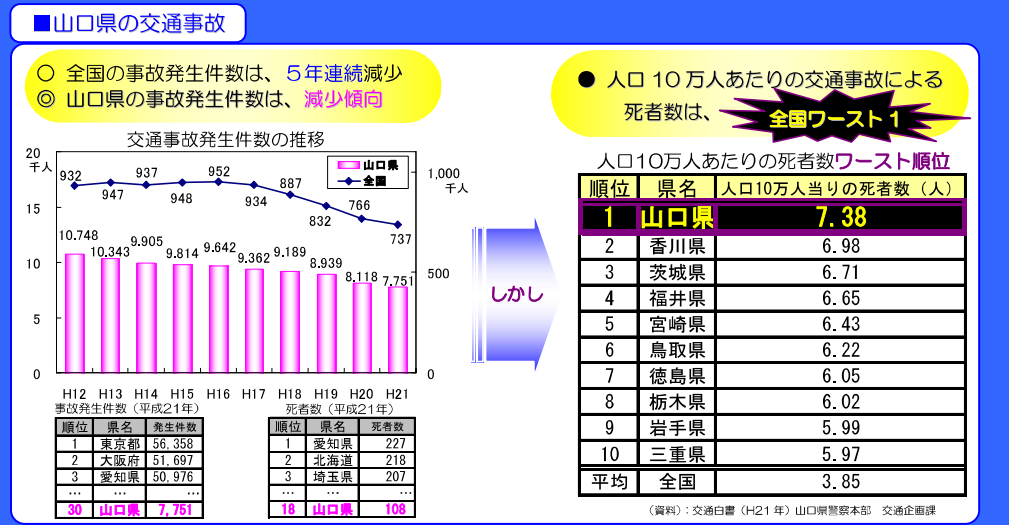


国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所

〒747-8585 山口県防府市国衛一丁目10番20号
TEL (0835) 22-1785 FAX (0835) 23-8973
ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>
Eメール yamaguchi@cgr.mlit.go.jp

平成22年12月

山口県版 『事故ゼロプラン (事故危険区間重点解消作戦)』 のとりくみ

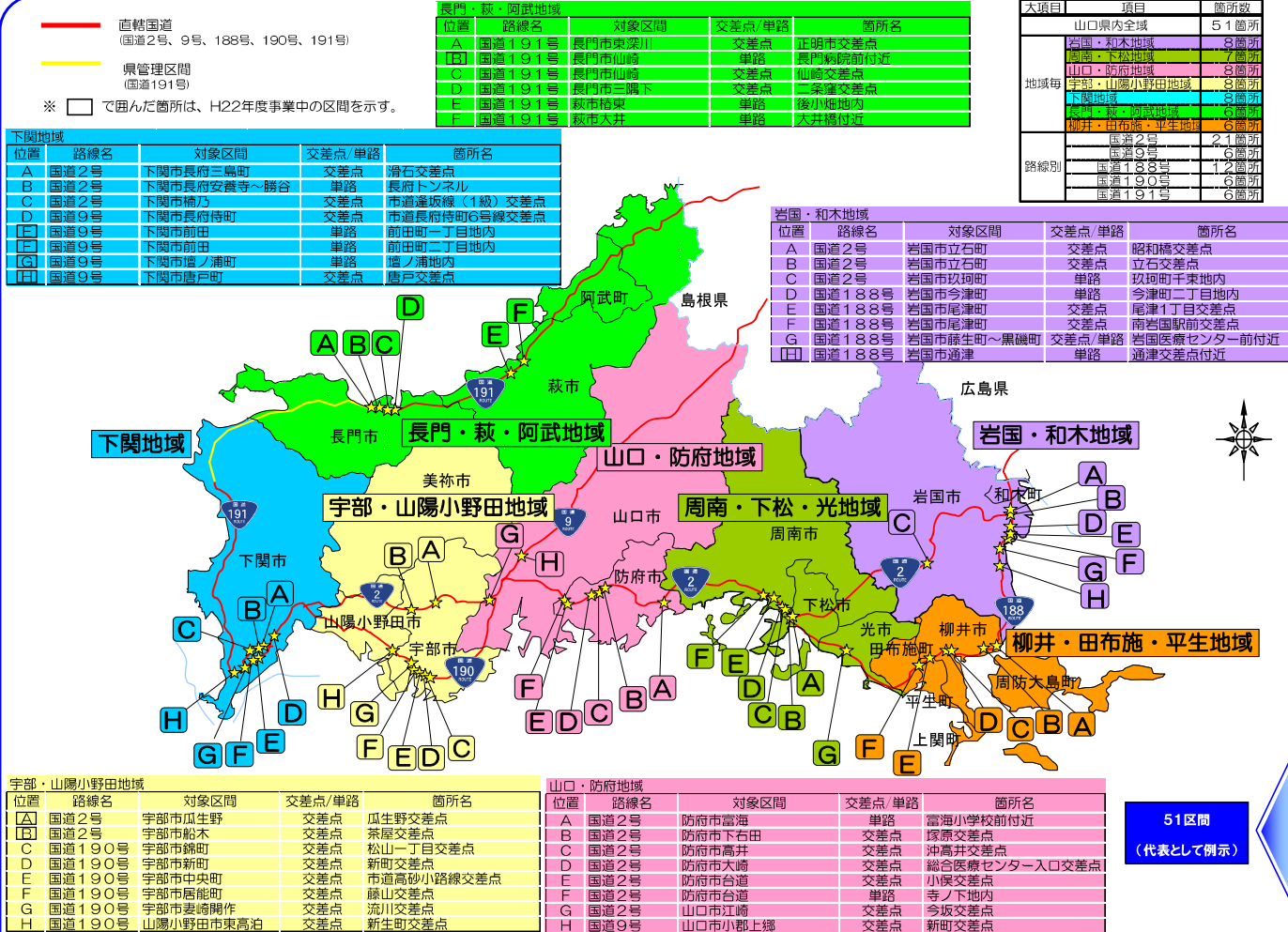


国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所

事故の危険性が高い区間を重点的に解消する新しいとりくみが始まります

～山口河川国道事務所管内の事故危険区間の代表区間を県内7地域で51箇所を例示～

『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』位置図



事故の危険性が高い区間の選定方法

山口県内の国が管理する国道

2 ROUTE 9 ROUTE 188 ROUTE 190 ROUTE 191

2854 区間

STEP 1 事故データ・地域の意見

- 山口県内の事故データによる抽出 (4年間: H17~20年)
 - 死傷事故率*1 200件/億台km以上
- 地域の要望による抽出
 - 地元及び関係機関の要望
- その他の抽出
 - 事故危険箇所**2, ヒヤリハット体験**3, あんしん歩行エリア**4

STEP 2 709 区間を候補 事業の実施状況

- 事業の実施状況による除外
 - バイパスなど大規模事業により事故が減少する区間
 - 既に事故対策が完了した区間

STEP 3 367 区間を選定 山口河川国道事務所管内の事故危険区間 山口県の地域性

- 山口県内の地域性を考慮
 - 県内を7地域(ヒヤリ・ハット地区地域)に分類し、地域ごとに以下の項目等により区間を抽出

<交通事故対策>
 事故危険箇所、地元要望箇所、ヒヤリハット体験、連続事故(4年連続事故発生箇所)、地域平均事故件数以上 等

<歩道整備>
 あんしん歩行エリア、地元要望箇所、通学路、通行量(自転車歩行者)歩道の有無、歩道狭路区間 等

*1 死傷事故率: 1kmの区間を1億台の自動車が行ったとき、その区間内で死傷事故が発生する割合を示したもの。数値が高いほど事故が起りやすい状態を示しています。

*2 事故危険箇所: 警察庁と国土交通省が、事故の発生割合の高い区間として指定した箇所。

*3 ヒヤリハット: 山口県内で実施したヒヤリハット体験アンケート調査(H19~20年)を集計、各7地区の上位10位以内。

*4 あんしん歩行エリア: 国家公安委員会・国土交通省・県及び市が、歩行者及び自転車利用者の安全な通行を確保するため、緊急に対策が必要な住居系地区又は商業系地区として指定した箇所。

『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』とは？

- 現に交通事故が発生している箇所および、地域の声から判明した、交通利用についての安全・安心感が不足する箇所を「事故危険区間」として選定しました。
- 今後は、道路利用者にも交通事故が起りやすい危険な箇所との認識を持っていただきながら、選択・集中的に交通事故の発生要因を排除していくため、「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」として計画的に取り組むものです。

